


コンクリートがれき有効利用技術

1. 技術の名称	石炭灰原粉とコンクリート殻を多量混入した人工地盤築造技術		
2. 有効利用技術の区分			
①処理方法	<input type="checkbox"/> 無処理 <input checked="" type="checkbox"/> 分別 <input checked="" type="checkbox"/> 破碎 寸法: <input type="checkbox"/> 300mm以上 <input type="checkbox"/> 300mm以下 <input type="checkbox"/> 100mm以下 <input checked="" type="checkbox"/> 40mm以下 <input type="checkbox"/> 20mm以下 <input type="checkbox"/> その他 破碎方法() <input type="checkbox"/> その他		
②用途	<input type="checkbox"/> コンクリート用骨材 <input checked="" type="checkbox"/> 盛土材 <input checked="" type="checkbox"/> 埋戻し材 <input type="checkbox"/> 路盤材 <input type="checkbox"/> その他 ()		
③その他			
3. 技術の内容			
①基本的考え方	石炭灰、セメント系固化材、水の混練物を一般の盛土工事と同様、層状に敷き均し、天端面から面的に振動を加えることにより、層状混練物を流体化させ締固める盛土等の人工地盤を築造する技術である。		
②対象とするコンクリートがれき	・RC40相当、		
③技術の概要(処理方法、使用材料、機械設備等)	・製造設備: 一般的なコンクリート製造プラント ・使用材料: コンクリートがれき, 練混ぜ水, セメント系固化材, 石炭灰原粉 ・運搬方法: ダンプトラック ・打込み, 締固め等: バックホーにより層状に敷き均し、締固めマシンにより天端面から面的に振動を加えて締固める		
	 製造プラン	 運搬状	 締固め状況
④本技術を活用し、得られた目的物の性状等	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>鉛</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>セレン</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>フッ素</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ホウ素</p> </div> </div>		
	図-1 圧縮強度と重金属溶出量(環境省告示46号)の関係		
⑤利用先・用途(実績等) * 適用できない場合なども含めて記述	・海岸保全(護岸裏込め)工事, 盛土造成工事, 軟弱法地補強工事等		
⑥特許・技術審査証明・NETIS登録状況等	・特許第3993914多量の微粉体を用いた硬化体製造のための配合比決定方法		
⑦コスト	・中間処理の業許可を保有するプラントで製造することで、通常の土による盛土と同等のコストによる施工が可能である。		
4. 意見等			
5. 連絡先			
会社名	株式会社 間組	担当者	坂本守
所在地	茨城県つくば市苅間515-1	所属・役職	技術研究所 主席研究員
		TEL	029-858-8813
		E-Mail	sakamoto@hazama.co.jp